

特集「データベースと感性，デザイン，バイオインフォマティクス，音楽，環境，医学，建築分野との連携」に向けて

清 木 康 (慶應義塾大学)

今回の論文誌データベース(TOD 18号)には,2002年12月3日,4日に東京アークヒルズ“アーク都市塾”にて行われた“データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム(DBWeb 2002):感性,デザイン,バイオインフォマティクス,音楽,環境,医学,建築分野との連携に向けて”(情報処理学会データベースシステム研究会主催,電子情報通信学会データ工学研究会,ACM SIGMOD日本支部,日本データベース学会協賛)に発表された論文7件が含まれています.このシンポジウムは「データベース分野と異種分野の連携」をテーマとして設定し,分野連携の基盤技術としてのデータベース高度応用技術,ビジョンを議論することを目的として,下記の特別セッション群を含むシンポジウムとして開催されました.

- (1) 医療情報とデータベース(日本VR医学会,日本医療情報学会と連携)
- (2) 感性・デザインとデータベース(日本感性工学学会と連携)
- (3) 建築・都市の情報空間デザインとデータベース(日本建築学会と連携)
- (4) バイオインフォマティクスとデータベース(日本バイオインフォマティクス学会,慶應義塾大学医学部と連携)
- (5) 音楽データベースの新しい潮流(情報処理学会音楽情報科学研究会と連携)
- (6) MPEG-7とデータベース(情報処理学会情報規格調査会,情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究会と連携)
- (7) Semantic Webとデータベース(情報処理相互運用技術協会と連携)

本論文誌編集委員会は,このシンポジウムを対象とした下記のような特集号担当編集委員会を構成し,シンポジウムへの論文投稿時に,本論文誌データベース(TOD 18号)への同時投稿を可能とし,同時投稿であり,かつ,シンポジウムに採録された論文については,シンポジウムにて,編集担当委員より適切かつ適切なコメントを行うという論文募集を行いました.

特集号担当編集委員会:

清木 康,市川哲彦,佐藤 聡(ゲスト編集委員),
原 隆浩,細川宜秀(ゲスト編集委員)

それらの論文の中から,次の7件の論文が採録され,本論文誌(TOD 18号)に掲載されています.

- ① 「レセプト情報収集・蓄積のためのセキュアネットワークシステム」
- ② 「任意の印象語による顔の表情の自動合成方式の実現」
- ③ 「階層的分類を用いた視覚感性のモデル化と類似画像検索への応用」
- ④ 「消費者の感性モデルを利用したレコメンデーションシステムの構築」
- ⑤ 「建築設計資料の時間・空間的編集とその閲覧」
- ⑥ 「ワークフロートランザクションの隔離性」
- ⑦ 「仮想世界データベースシステムにおける仮想世界同期法」

このシンポジウムにおいて,本論文誌への投稿を前提とした議論を行う過程は,著者にとっては大変有意義なものであり,今後もこの形態の論文募集の実施を予定しています.